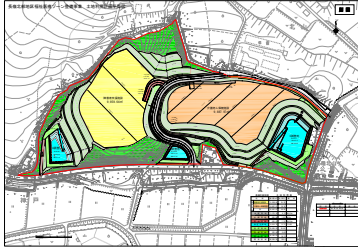


福祉産業建設委員会

協議会
5月15日

長嶺北部地区福祉医療ゾーン 整備事業の進捗



長嶺北部地区福祉医療ゾーン計画図

答 この施設ありき、介護施設ありきで、11年度造成出来るか。そのスケジュールで進める。

問 愛厚藤川の里と介護施設の開設は同時でなければ、開発できないのではないか。

答 地区計画を作り、可能にする。

問 この地区全体の社会福祉拠点として位置付け、「市街化調整区域内地区計画」に基づく開発が適当と県より助言受け、手続きを進める。

高齢者生きがいセンター移転改修
高齢者の就業活動及び地域交流生きがい推進と、借地解消を図るため、大草広野地区旧MCC倉庫を改修し、機能移転を行う。



高齢者生きがいセンター外観イメージ

問 倉庫の一部を改修し事務所とするが、他のスペースはどうするのか。

答 まずは倉庫の一部へ事務所移転し、残りのスペースは、今回は手を付けずにそのまま使用する。

問 倉庫の一部を改修し事務所とするが、他のスペースはどうするのか。

高齢者の就業活動及び地域交流生きがい推進と、借地解消を図るため、大草広野地区旧MCC倉庫を改修し、機能移転を行う。

高齢者生きがいセンター移転改修

総務教育委員会

協議会
5月16日

施設等の充実を図る 調査研究について

問 体育館施設は必要であるが、基金を積み立て進めるべき。

【調査研究結果】
・菱池遊水地上部に緑地運動公園が新設されたら、屋外施設要望は解消する。
・屋内施設の総合体育館新設は40億円から50億円を要するため、民間活力を検討する。

【解決策】
・屋外施設は菱池遊水地上の緑地運動場活用を推進する。
・屋内施設は総合体育館新設を検討する。
・文化施設は博物館新設を検討中。

【背景】
・町スポーツ施設は、予約が取れない。
・文化施設の幸田郷土資料館は、老朽化し手狭である。

【背景】
・町スポーツ施設は、予約が取れない。
・文化施設の幸田郷土資料館は、老朽化し手狭である。

【解決策】

・屋外施設は菱池遊水地上の緑地運動場活用を推進する。
・屋内施設は総合体育館新設を検討する。
・文化施設は博物館新設を検討中。

膨大な予算が掛かるため、民間の力を借りて行くことも、考えていく。

答 膨大な予算が掛かるため、民間の力を借りて行くことも、考えていく。

問 体育館施設金額が具体的に見えないと、他施設も含めてどう進めていくのか判断できない。

答 民間の知恵を借りて判断し、金額等も方向づけしていく。

問 施設予約が取れない不満があるため、町民優先をお願いする。町民を最優先としている。



44年経った
幸田勤労者体育センター

第7次幸田町総合計画策定特別委員会

協議会
5月21日

第7次総合計画 基本目標素案が示される

基本目標(案)

(1)暮らしやすいまち

〈安心・安全・快適〉

(2)みどり豊かなまち

〈自然環境〉

(3)活力とにぎわいのあ
るまち

〈産業〉

(4)健康に暮らせるま
ち

〈健康・福祉〉

(5)誰もが学べるまち

〈教育・文化〉

(6)みんなで支えるまち

〈協働・参画〉

以上6つの基本目標

案が示され、基本目標
に対する取り組み方針
取り組み分野、担当課
について協議した。

問 土地利用構想など
地域で話し合うス
ケジュールは。

答 各小学校区単位で、
北部、中部、南部
と2学区ごとに行う。



総合計画策定を協議する委員と理事者

問 町企画部と区長で
行うのか。

答 区長と意見交換と
いう形で行う。

問 区長だけでは足ら
ない。より多くの
人の意見を聞く耳を持
っていたきたい。

答 住民の意見は大切
だと認識している。

これまで、各区ワーク
シヨップ、小学生、高
校生、二十歳とそれぞ
れの年代と意見交換し
ている。

D X 推進特別委員会

協議会
5月21日

災害時被災者生活再建支援に D X 活用へ

新しい地方経済・生
活環境創生交付金を、

デジタル技術を活用し、

被災者の安否確認、生
活再建等、多様な観点
から迅速かつタイムリ
ーな支援を行う防災D
Xに取り組む。被災者
生活再建を速やかに支
援し「誰一人取り残さ
ない」復旧・復興活動
の実現を目指す概要が
示された。

事業内容

- 被災者生活再建支援
システム活用し、罹
災証明発行の迅速化
を図る。

- 安否確認サービスの
電子回覧板アンケー
ト機能活用し、支援
必要者に早期にアプ
ローチ可能にする。
など

問 デジタル人材の育
成は、どんな人材
育成予定か。

答 デジタル活用し、
業務出来る人材を

育成していく。

問 安否確認サービス
など、広域連携で
活動する時は、どうす
るか決まっているか。

答 三河地域では、な
かなか広域連携の
気運が進まず、国も懸
念している。

問 災害対策本部大型
モニターのイメー
ジは。

答 消防指令センター
で運用している、
複数画面が見られるも
のを想定している。



タブレット使用し家屋被災調査